

地区復興まちづくり便りへの意見等

※○番号は第 1 回資料で紹介したものの再掲です。

■検討会の進め方・メンバーについて

①	良いと思います、各地区、町内において状況や環境も違うので。	(男性)
---	-------------------------------	------

■支援等について

①	住宅、店舗、再建は無理とやむをえず盛岡市に住居を決め、今後の支援金を基に建築購入予定なので加算支援金はどうなっているのか？	(70 歳代 男性)
2	・借地に家を建てている方は買い上げしてもらえないため負担が大きくなるか？また、高齢者の自力再建は難しいのではないか？公営住宅等の建設戸数を明らかにし、入居希望者が確実に入居できるなど、そのような住民に安心感をあてえなければみんな修理して元と同じになる。	(40 歳代 女性)

■防潮堤などについて

①	慶長 16 年 20 年の津波は現在の津波と高さが同じでしたからそれを防ぐよう 20m の防波堤を造る事を進言致します。河川堤防完備すれば安心して住む事が出来る。	(90 歳代 男性)
2	防波堤の嵩上げに関しては他の地区との意見に同調でいいと思う。	(男性)

■移転について

1	光岸地地区は狭く世帯数も少ないので移転先というよりは、市営のアパートなどが出来ればいいと思います。個人の土地については自己の判断で建築も可能でいいと思う。また、高台には、空き家もありそれらの活用も考えられる（持ち主の問題があるが）	(男性)
2	・他地区に転出している人達への連絡は？移転、用地で 5 戸まとまれるかどうか。話が出来なくては困る。	(40 歳代 女性)

■道路について

①	以前より、道路は広く 2 本必要。	(70 歳代 男性)
②	赤前より浄土が浜の入口日立浜迄 20m の高さ、巾広く自動車道にすれば交通渋滞も緩和すると思います。退くより進む事が良いと思います。	(90 歳代 男性)
3	・国道は嵩上げすべきではないか？	(40 歳代 女性)

■施設について

①	愛宕築地は地主さんが少ないので、協力して頂きアパート、店舗等作ってほしいです。水道ポンプ室も移動、歩道橋も利用できるようにスロープをゆるくしてほしいです。(70 歳代 男性)
2	将来的には、道の駅「なあと」を移転してもどうだろうか？土地の問題もあるが、防波堤もあり高潮や小規模の津波の心配もないし避難するにも、魚協ビルや大杉神社、善林寺などすぐに逃げるところもあり、今後、観光産業の復活には欠かせないと思うのだが。(男性)
3	・防災施設をつくるとなれば、一定の面積が必要。避難しやすい道路整備などが今の時点では

	議論されていない。「5戸」にこだわれば、結局まとまらず思い切った防災施設整備が出来ないのでは？仮換地のようにして同意見の住民の所有地をまとめ「5戸」にしてしまうなどの手段も考えなければならないのでは？ (40歳代 女性)
--	--

■地盤沈下について

1	・地盤沈下はパターンBでも盛土すべきではないか（構造制限付可住地） (40歳代 女性)
---	---